

上越市学校教育研究会 理科部会【小学校】

- 1 研修日時 平成 23 年 11 月 18 日 14:00～
- 2 会 場 直江津小学校
- 3 研修テーマ 「授業力の向上」
- 4 研修内容

(1) スーパーティーチャー（直江津小 内藤寿一教諭）の授業を参観することによって、自らの授業力向上に役立てる。

○ 第 6 学年「てこのはたらき」（本時 7 / 1 0）

【本時のねらい】

身の回りのでこを利用した道具を使い、楽に作業ができる使い方を調べる活動を通して、てこの仕組みやきまりの有益性に気づくことができる。

【展開の概要】

児童はすでに実験用でこで、てこを傾ける力は、「おもりの重さ×支点からの距離」で表せることを学んでいる。本時では、身の回りにあるてこ 6 種（くぎ抜き、はさみ、ラジオペンチ、穴あけパンチ、空き缶つぶし器、栓抜き）について、支点、力点、作用点を確認し、どういう使い方をすると楽か、逆に使いにくいやり方はどんな場合か確かめた。

はさみやペンチなどでは、作用点と支点の距離を近づけるほど楽で、くぎ抜きや空き缶つぶしでは、支点から力点の距離が遠いほど楽に仕事ができた。普段から使い慣れているはさみなどについて、刃の先では切りづらいことがこの原理から改めて理解することができた。

本時は、児童一人一人の追究意欲を高めるために「ジグソー法」を取り入れ、目的意識と使命感をもって学習に取り組むことをねらいとした。児童は、互いに異なる道具について追究した後、元のグループに戻り調べたことを説明し、相互の共通性や相違点を比較検討していた。

(2) 指導案を持ち寄り、協議することで自らの授業力を向上させる。

学年ごとに、これから行う単元についての 1 時間分の指導案を持ち寄り、より分かる授業にするには、どのような工夫ができるかグループ別に協議した。そのあと、上越市立谷浜小学校長 木南文雄先生よりご指導をいただいた。

＜内藤教諭の授業＞



＜協議会・御指導＞

